

3. 技術スタック

3.1 確定した技術構成

レイヤー	技術
Frontend	React (Vite)
Backend	FastAPI (Python)
Database	PostgreSQL (RDS)
ストレージ	S3 (音声/動画)
インフラ	EC2 (Amazon Linux 2023), ALB, CloudFront
キャッシュ	ElastiCache (Redis)
AI/API	OpenAI GPT-4o, Google Cloud STT, HeyGen
顔分析	DeepFace (感情認識) , MediaPipe Face Mesh (顔の向き検出)

3.2 技術選定理由

FastAPI (Python) を選定した理由

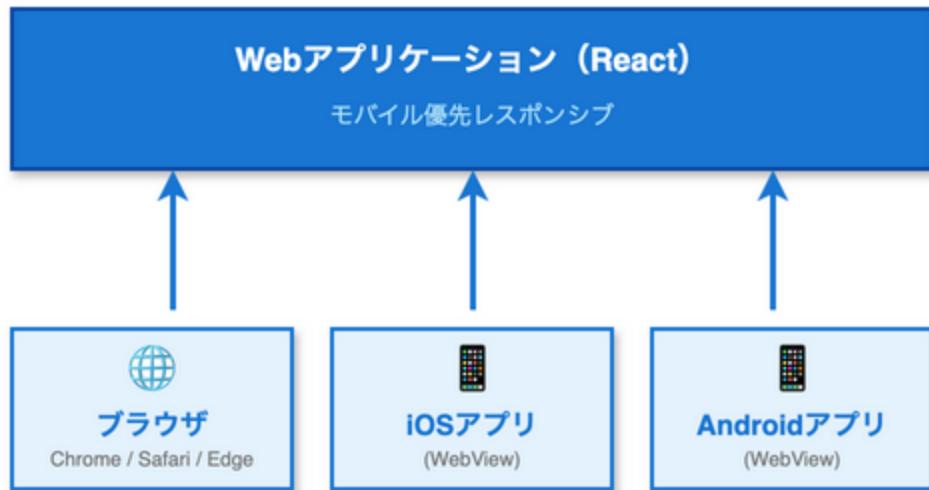
- OpenAI、Google Cloud STT/TTSとの連携ライブラリが豊富
- 音声解析ライブラリ（librosa, pydub等）が充実
- LangChainなどのAI/MLツールが成熟
- 非同期処理に強い

Amazon Linux 2023 を選定した理由

- AWS環境に最適化
- 長期サポート
- 軽量でパフォーマンスが良い

3.3 対応プラットフォーム

3.3.1 アーキテクチャ



同一のReact WebアプリケーションをすべてのプラットフォームでWebView表示

3.3.2 ユーザー向け

プラットフォーム	対応	実装方式
Webブラウザ (モバイル)	○	React (モバイル優先 375px~)
Webブラウザ (PC)	○	React (タブレット/デスクトップ対応)
iOSアプリ	○	WebView (同一Webアプリを表示)
Androidアプリ	○	WebView (同一Webアプリを表示)

3.3.3 管理者向け

プラットフォーム	対応	実装方式
Webブラウザ (PC)	○	React (デスクトップ優先 1024px~)
Webブラウザ (タブレット)	○	React (768px~)
モバイル	×	不可

3.3.4 WebViewアプリの認証フロー

項目	内容
シームレス遷移	外部システムからURLスキーム/Universal Linkで起動
URL例	aiinterview://open?token=xxx または https://app.example.com/auth?token=xxx
トークン保存	WebView内のCookie/LocalStorage
自動ログイン	保存済みセッションが有効な場合、直接ホームへ